

ひまわり

第21号

2018年3月発行



松阪市男女共同参画
シンボルマーク

働くお母さんに 聞いてみました!

保育園に子どもを預けて働いてみえるお母さんに、子育てをするうえで困っていることや、行政に対しての要望などを聞いてみました。

健康センターはるるへ 行ってきました!

子育て中のお母さんを支援する「健康センターはるる」で保健師のお話を聞いてきました。



健康センターはるる

1F キッズコーナー



1F エントランス・案内



看護師の資格を持った
はるるコンシェルジュが
相談にものってくれます。



1F 健康チェックコーナー



市民が集まり、活躍できる、元気づくりの拠点として、保健の専門的機能と一次救急の機能に加え、誰もが気軽に立ち寄り、ふれあいや交流ができる“人を中心”にした施設。安心して子育てができるよう妊娠・出産・子育て期を途切れなく支援する松阪版ネウボラの拠点となる施設。

※ネウボラとは、フィンランド語で相談の場を意味し、フィンランドには妊娠中から子育てを通じ、子どもとその家族をサポートする制度があります。

『健康センターはるる』 松阪市春日町1-19 ☎20-8087



病気になった時

Q:お子さんが急に熱を出したら、どなたが看ますか?

見てくれるおじいちゃん、おばあちゃんが近くにみえますか?



私が仕事を休んで看ます。職場には女性職員が多くて、子育てしている職員ばかりなんです。子どもが急に熱を出すのは仕方がないと言ってくれるので、ありがたいです。



自分の母親と一緒に住んでいますが、同じように働いているので結局誰かが休むことになるんです。子どもが3人なので1人が風邪を引くと次々に長引きますね。

Q:例えば、とても大事な会議の日にお子さんが熱を出したらどうしますか?

そのときにストレスとか葛藤とかありませんか?



私は休みます。自分が職場で厳しい立場に立たされたとしても、仕事は選べるけど、子どもはその子しかないから。

Q:自分がどうしても休めない時、子どもを預かってくれるところがあるといいなと思いませんか? 病児保育とかなら安心かと?



それはありますね。預けても安心できる場所が、家庭でも保育園でもなくて、もうひとつあれば、すごく良い助かります。

Q:職場の理解はどうですか?



育児休業など制度は確立していても、実際職場環境によって取りにくかったりすると思います。それぞれの職場で違うと思います。

困ったこと・心配なこと

Q:子育てで困ったこととか心配なことはありますか?



希望の保育園にきょうだいと一緒に通えない時は大変でした。一年間は2か所に分かれていたんです。一年待って一緒に通っています。でも自宅から遠くないので、小学校に上がることを考えると友だちのこととか心配です。子どもを預けて働かなければいけなかったから仕方がないという感じでした。



小学校区内で、きょうだい揃って通いたいという希望は多いですね。



小学生になってからのことが心配です。小1の壁、夏休みの壁とかありますよね。1年生は学校から帰ってくる時間が早いし、夏休みとか本当にどうしようかなと思います。

Q:学童保育を利用するとかは考えていますか?



どうしようかと思っています。私は学童保育に頼るつもりなので、先輩ママに情報を聞いているところなんです。



あったらいいな

Q:松阪市に要望はありますか?



学童保育のことになりますが、運営とか自分たちでしていかないといけないけど、運営に困っているところは指導員の確保とかを市でも協力してもらえる体制を取ってほしいです。



駐車場と隣接した公園とか遊び場がもっとあればいいなと思います。



嬉野図書館は子ども用のトイレがあったりして、子ども連れのお母さんにやさしいつくりになっているのを感じます。そういう所が増えるといいなと。



子どもが使いやすくしてあるトイレがあると、また行きたくくなります。



手洗い場に足ふみ台が置いてあると、ちょっとしたことですごく違います。

病児保育等について 知っていますか？



松阪市病児及び病後児保育事業

- 利用対象：①市内在住で、保育園、幼稚園、小学校、及び託児所などに通園・通所・通学しているお子さま
②病気の回復期に至らない場合、または病気の回復期にあって入院の必要はないが安静に配慮が必要のため、集団保育が困難である場合
③保護者が、勤務の都合などの理由により家庭で保育することができない場合
※以上すべての条件を満たし、実施施設の診察の結果、許可した児童が対象となります。
- 実施施設：おおし小児科(利用定員1日4人) 松阪市大足町671-2 ☎21-7722
安田小児科内科(平成30年4月開設予定) 松阪市上川町2194-3 ☎28-8828
- 利用日時：月曜～土曜日(ただし木曜日は、前日利用者のみ)8:30～17:00
※日曜、祝日、年末年始、お盆休み等、実施施設の定めた休診日は利用できません。
- 保育料：1日2,000円(生活保護世帯は無料)
※詳しくは松阪市ホームページからご覧いただけます。
【問合せ】 こども未来課保育幼稚園係 ☎53-4083

平成30年3月1日現在

健康センターはるるへ 行ってきました！



～「健康センターはるる」で保健師のお話を聞いてきました～



「はるる」ってどんなところ？

Q:「はるる」の特徴を教えてください。

😊 1階キッズコーナーに親子で遊びに来る方が増えたのと、2階が事務所の建物スタイルなので、1階に看護師の資格を持った「はるるコンシェルジュ」という、案内人を設けています。大きな悩みでなくても、ちょっとした遊びや生活の中で気になることが、そこで解決していくので、満足感は大きいと思います。

Q:子育て世代以外の方がどのように利用をいただいていますか？

😊 血圧計とか体脂肪計が設置してあるので、定期的に測定してコンシェルジュに数値をみてもらう方も多くなりました。毎週火曜日午前9時から「はるる元気朝体操」をやっています。平均50名ほどの参加で、夏休みは子どもたちもいましたよ。

相談ごとで多いのは？

Q:お子さんを連れてみえる方の悩み、相談ごとで多いのはどんなことですか？

😊 乳児では身長体重の伸びや生活全般の相談、幼児では発達相談が中心となります。実家が近くても祖父母世代も働いていたりするので、お母さんの話が充分聞けるわけでもありません。実家との関係に悩んだり、情報量も多すぎて迷ってしまうこともあります。細かな質問一つひとつに回答を必要とする場合も多くあります。「はるる」や子育て支援センターのような場所に来て、子育て世代の仲間にお互いの悩み事や気持ちを伝えたりすることも大切ですね。

Q:保育園の問題とかはどうですか？希望のところに入れないとか？

😊 関心の高い問題だと思います。子どもが別々の園に通うことになるという場合もありますが、厳しいことですね。入園申請に希望園を複数申請しなければならないので、園の様子を見に行ったりして、毎日の送迎や職場への行きやすさ等も考えて候補を出しておくこと、希望の順番も決めておくように話をしています。

保健師から一言

😊 身近な施設だと思っていただけると良いと思います。「はるる」は松阪版ネウボラの拠点となっていますが、全ての機能を網羅しているとは言えませんので、関係機関との連携が必要となってきます。29年度から子育て支援センターにも出向いて、乳幼児健康相談も始めました。また、自分たちだけの力には限りがあるので、イベントも行政だけでなく一般の方の意見を企画に取り入れて行いたいと考えています。



事業報告

男女共同参画情報紙「ひまわり」制作スタッフ

あなたも情報紙ひまわりの制作に参加してみませんか？



男女共同参画週間の啓発



6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

内閣府では、「女性も男性も、自らの意思により各々の夢と希望を実現するため、一層その個性と能力を十分に発揮して働ける職場を作るためのキャッチフレーズ」を募集、平成29年度のキャッチフレーズは、

『男で○、女で○、共同作業で◎』に決まりました。
(埼玉県 土橋義広さんの作品)

松阪市では、この期間に合わせ、プラザ鈴口ロビーにてパネル展示(6月23日～30日)、松阪駅・伊勢中川駅にて街頭啓発(6月23日)を実施しました。



男女共同参画 さ・し・す・せ セミナー

男女が互いに尊重し合い、心豊かにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し、セミナーを開催しました。

8月19日(土)

「家族みんなで!ファミリーコンサート」
吉香星、花垣 亮志

8月31日(木)

「DVと児童虐待～生き方は変えられる～」
講師:柳谷 和美さん【おやこひろば桜梅桃李代表・心理カウンセラー】

9月14日(木)

「高齢期を元気に過ごすラクラクすこやか食生活」～楽しく美味しく食べるヒント!～
講師:馬場 啓子さん【管理栄養士】

9月20日(水)

「地域の宝を次の世代へ!地産地消・農村料理バイキングで心づくしのおもてなし」
講師:北川 静子さん【農業法人せいわの里まめや代表取締役】

10月3日(火)

「女性と災害～避難所で協力しあうこと～」
講師:服部 垂龍さん【三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」】

男女共同参画松阪フォーラム



家庭・職場・地域等あらゆる場面で、男女が良き未来を描くために松阪フォーラムを開催しました。

第22回
男女共同参画
松阪フォーラム
を農業屋コミュニ
ティ文化セン
ターにて開催し
ました。

三重県内男女共同参画連携映画祭2017

三重県内
男女共同参画
連携映画祭
2017



©2013「箱入り息子の恋」製作委員会

「箱入り息子の恋」

健常者と障がい者の恋愛を自然に描いて、笑いあり涙ありの心に残る映画でした。



◆発行 松阪市人権・男女共同参画課

〒515-8515松阪市殿町1340番地1 ☎0598-53-4339 Fax 0598-22-3533
E-mail:iinkyo_div@city.matsusaka.mie.jp http://www.city.matsusaka.mie.jp

◆企画・編集

松阪市男女共同参画情報紙制作スタッフ
海住さつき 北村真奈美 松浦光義